

卒業証書授与式が挙行されました。

3月2日(火)、本校体育館にて第41回卒業証書授与式が挙行されました。学校長式辞の中で大住満寿夫校長は、「卒業後は、適応力を見に付け、人との出会いを大切にしていってほしい」と述べられ、卒業生は真剣な眼差しで耳を傾けていました。

また、来賓の徳島県高等学校定時制通信制教育振興会の長尾哲見会長からは、「来るべき超スマート社会に向け、高い志を持って行動する『勇気ある社会人』を目指してほしい、そのためにも、ダイバーシティ(多様性)への理解を持った人物になってほしい」と述べられ、『安定は動の中にあり』という力強いメッセージを頂きました。

各教室での最後のホームルームでは、担任より卒業生一人一人に卒業証書が手渡され、担任やクラスメイトと別れを惜しむ姿が見受けられました。

昼間部では、51名の卒業生が本校を巣立って行きました。今年は残念ながら在校生の式への参加はかないませんでした。在校生、教職員一同、卒業生の皆さんの今後の御活躍をお祈りいたします。

